

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50									
授業科目名 <英訳>		ILASセミナー：霊長類脳神経科学トレーニングコース ILAS Seminar :Primate Neuroscience Training Course				担当者所属 職名・氏名		ヒト行動進化研究センター 教授 ヒト行動進化研究センター 教授 ヒト行動進化研究センター 准教授 ヒト行動進化研究センター 准教授		中村 克樹 松本 正幸 宮地 重弘 大石 高生	
群	少人数群	単位数	2単位		時間数	30時間		授業形態	ゼミナール (対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・ 前期集中	受講定員 (1回生定員)	6 (6) 人		配当学年	主として1回生		対象学生	全学向		
曜時限	集中 前期集中 (8月 最終週～9月初 週の5日間)		教室	犬山キャンパス ヒト行動進化 研究センター				使用言語	日本語		
キーワード	脳 / 霊長類 / 認知機能 / サル										
[授業の概要・目的]											
ヒトに類似した構造を持ち、高度な認知機能を有するサル類の脳の研究を見学、体験する。霊長類研究所において先端的研究を展開する、統合脳システム分野と高次脳機能分野の研究室を訪問し、脳科学研究の最前線に触れる。今後の脳科学研究や医学研究におけるサル類を対象とした研究の重要性や実際の研究手法の理解を深める。											
[到達目標]											
霊長類の脳の特徴を知り、脳の構造と機能について学ぶことができる。また、最新の脳科学研究の手法を学び、サル類における学習課題の訓練法や神経細胞活動の記録方法や染色された神経細胞の顕微鏡下での観察方法を習得できる。研究対象としてのサルの有用性や意義が理解できる。											
[授業計画と内容]											
8月最終週もしくは9月最初の週の月曜日～金曜日の連続5日間、午前10時～午後5時の予定で、研究施設の見学、様々な研究手法や最新の研究トピックスの紹介を行うとともに、特に神経解剖学と神経生理学に関する方法論の一部を実習する。 <講義> 1) オリエンテーションおよび霊長類脳科学研究の概要に関する講義 2) 霊長類の脳機能の概要に関する講義 <体験・見学> 3) 神経生理学的実験の体験・見学 4) 神経解剖学的実験の体験・見学 5) 霊長類疾患モデル研究の体験・見学											
[履修要件]											
特になし											
[成績評価の方法・観点]											
出席状況および期間中の質疑応答の内容により評価する。詳細については実施期間中に説明する。											
----- ILASセミナー：霊長類脳神経科学トレーニングコース(2)へ続く↓↓↓											

[教科書]

使用しない

教科書は使用しないが、必要に応じてプリント等の資料を授業中に配付する。

[参考書等]

(参考書)

泰羅雅登・中村克樹『カールソン神経科学テキスト 脳と行動』（丸善出版）ISBN:978-4-621-08257-7

(関連URL)

http://www2.ehub.kyoto-u.ac.jp/sections/cognitive_neuroscience/(ヒト行動進化研究センター 高次脳機能分野ホームページ)

http://www2.ehub.kyoto-u.ac.jp/sections/systems_neuroscience/index.html(ヒト行動進化研究センター 統合脳システム分野ホームページ)

[授業外学修（予習・復習）等]

脳に関する知識を事前にある程度習得していると理解が進む。

また、自分自身がどのような脳の働きに興味をもっているかを考えておくといい。

動物としてヒト、サル、ネズミの共通点と相違点を知っておくとよい。

前期科目「霊長類学入門I」も参考となる。

[その他（オフィスアワー等）]

神経科学（脳神経系の構造や機能に関する学問）に興味のある学生の参加を希望することは言うまでもないが、特に、霊長類で進化した高次機能（運動制御、学習・記憶、社会認知等）や発達、可塑性、老化、病態等の動的現象、最新の研究手法に関心が強い学生を歓迎する。なお、受講者は、犬山キャンパス共同利用宿泊施設（http://www2.ehub.kyoto-u.ac.jp/sections/cooperative_research/accommodation.html）を利用することができる。ただし、愛知県犬山市までの交通費及び宿泊費は受講者負担になる。また、研究施設の見学等も含まれるので、学生教育研究災害傷害保険に加入していることと、直近の健康診断での胸部X線診断結果の提示が必要。

集中講義が8月中旬以降に行われるため、通常の成績発表の時期に間に合わない可能性がある（9月末あたり）。

質問があれば、宮地（miyachi.shigehiro.8e@kyoto-u.ac.jp）まで。

[主要授業科目（学部・学科名）]